

さらなる推進に向けて - まとめ -

「参画と協働」の確実な拡がりのために

県民の主体的な地域づくり活動は、各地域で創意工夫を凝らしながら、柔軟かつ多彩に展開されるなど、「参画と協働」の考え方、手法は、確実に浸透しつつあるといえます。

一方、県行政への参画と協働については、活用方法等が事業実施担当課の判断に委ねられる部分が少なくないので、各職員が適切な手法の運用を図ることが求められます。今後とも、県民と職員の意識啓発や状況の把握・対応に向けた継続的な取り組みが必要です。

市町と県の連携の強化

市町からは、県の事業と市町の施策との連携を図ることで地域での活動が活発化しているなど、県の参画と協働の取り組みについて評価を得ていますが、次のような意見も提出されています。

市町から指摘された主な意見

- ・ 参画と協働による事業の実施は、県と市が適切に役割分担する方が住民にとってわかりやすく、効率的である。
- ・ 参画と協働手法の効果的な活用ノウハウや他市町の取り組みなどを情報提供してほしい

県内各市町では、参画と協働に関する条例等の施行や各種のしくみの導入が着実に進んでいます（17 ページ参照）。県は引き続き、市町の取り組みを尊重しながら、市町との連携の強化に努め、県下全域での参画と協働の定着を図っていく必要があります。

そのため、各施策の展開にあたって、企画段階から市町との情報共有を基本に、調整を図り、明確な役割分担に基づいて実施する機会の拡充とともに、参画と協働の手法や活用例の情報提供の充実に努めます。

行政に期待される役割

今回、地域づくり活動応援(パワーアップ)事業等の状況調査をする中で、活動団体からは、行政の果たす役割に関して次のような点で評価や期待をされていることがわかりました。

活動団体から行政への期待等

- ・ 事業実施を通して、行政の持つ信用力や情報発信力により、各団体の活動の認知度が高まり、また、活動の発展につながった点等を評価している
- ・ 各団体の活動支援だけでなく、地域全体の活動を見渡して調整機能を発揮すること等を期待している

また、地域団体等の活動は、行政の支援が必要な段階からかなり進んだ状況も多くみてとれました。これらを踏まえ、それぞれの活動段階に応じた地域づくり活動への支援を図っていきます。

「参画と協働」の効果の評価方法の検討

今後、さらなる参画と協働の推進を図るため、施策の立案・実施にあたり参画と協働の手法が効果的に活用されているかどうか評価を行うことが重要です。このため、評価の視点や方法等について引き続き検討を進めていきます。